

No.
96

書 左右津安輝子



苦しい時こそ、視野を広く! 被災経験を強みに変える!! 楽しく仲間とつながる!!!

理事 内田 ひとみ
うちだ ひとみ

緊急事態。昨今は頻繁にこのことばを聞くようになり、意識するようになった。新型ウイルスの到来、自然災害の多発。

私たちはどんな風に生きていくべきのか。気候変動や環境問題など、色々と考えなければならないことが山盛り。とても騒がしい時代に生きる中で、自分の気持ちにはなるべく正直でありたい。日本にいても、嫌なことにはしっかりとノーを言いたい。それでいて仲間とつながってみたい。こんなことを思うようになった。今やなにも当たり前ではない世の中をどのように捉え、暮らしていくのか。大切な仲間たちと命や暮らしをまもり合い、柔らかくしなやかに生きたいと願う。そしてまずは自分自身の生活や体調を整えていく。これに尽きるのかもしれない。

緊急事態は地球で起きている。つまり世界中で起きている。日本にだけ、関西にだけということはないのだから、周りの

INDEX

- 01** 苦しい時こそ、視野を広く! 被災経験を強みに変える!!
楽しく仲間とつながる!!!
- 03** 心強い応援に感謝—コロナ感染を経験して
- 04** 豪雨被害にあって / 水害復興への道のり—被災地の苦悩
- 06** 災害対策基本法が改正されました / 東日本大震災復興支援定期「サポートV」活動報告会のお知らせ
- 07** ゆめ風ネットからこんにちは 第15回
- 08** リレー・エッセイ 災害と障害者 第六十九回
- 10** カンパをいただいた団体 / 事務局のうごき
- 11** 会計報告
- 12** 各地からの風だより

人たちと共有できることはある意味強みかもしれない。共感したり、刺激して高め合つたり、そして人生を長い目で考え優先順位をつけて、実践していく。苦しい時こそ、視野を広くもつ。地球の裏側の世界や生活をイメージしてみる。そこに暮らす人々の日常を知ろうとする。優劣ではなくて、貧富ではなくて、私ができる範囲でやれることを今からやつていく。障害当事者として生まれ、大震災を経験したからこそ、命の重みを深く感じている。人生はきっとあつという間だろうから、毎日を丁寧に生きていきたいと考える。

最近のビッグニュースとして嬉しいのは、3度目の宇宙から帰還した宇宙飛行士の野口聰一さんのこと。まさに未来への仲間づくりをされている先駆者のように感じ、SNSを覗かせてもらひながらすごく親近感をもつてゐる。YouTuberとしてたのしいことや私たちの興味がありそなことをどんどん発信してくださっている。しかも特に若い世代とつながりながら、今後行きたい人はさらに宇宙へ行けるようになるといふ

希望と夢をユニークに魅せてくださる。私たちは地球での大変さを日々かみしめながらも、野口さんの人柄と話しか方、たくさんのことに対する感をもち、このようないくらしていきたいとお手本になつてくださいの人なのだと想う。

少し余談になるけれど、私はいま海外製の電動車椅子を使って、自立生活をしている。すぐく高機能な車椅子なので、からだにもラクで見た目にもオシャレでいたくて、メンテナンスにも気をつけている。座面の昇降機能もついているので、かなり低身長の私がカーフェのカウンターへ行けるようになつたし、音楽ライブで以前よりもステージが見やすくなつた。このように日々進化している電動車椅子。私は昔から空を飛ぶことに憧れていて飛行機や空港が大好きなので、いつか自分のこのかっこいい車椅子に羽がはえて、すぐに離陸して遠い場所へ飛んでいけるような日が来ることを楽しみにしている。まさにスペースシャトルのように変身できないかなあとワクワクしている。

緊急事態にあつてもなくとも、人はひとりでは生きていけない。仲間とつ

ながつて地域コミュニティの中で周りの人と支え合つて暮らしていく。どうやつて仲間とつながればいいか? どのような場所だつたら人が集まり、つながつていいのか? そこには安心できる関係づくりと、未来についてワクワクできる楽しい気持ちや希望の共有が必要不可欠になるのではないだろうか。宇宙飛行士の野口さんは宇宙での暮らしがタイムリーに軽快に私たちに伝えてくださる。実際には、準備や実践はどうでも大変でリスクの高いことも多いと思うが、それを感じさせないぐらいおもしろく、目線を私たちに合わせてくださる。地上と宇宙では全然違うはずなのに、暮らしさは意外に似ている部分もあるって、インターネットを使って面白じいコンテンツを配信しつづけてくださることが本当にしばらくしく感じ、尊敬している。しかも野口さんは、宇宙からお笑い番組を好きで観ていたりした

そだ!!

宇宙から観る地球はとても美しいこと。私はこれからも楽しく仲間とつながりながら、緊急事態にも備え、笑つて楽しく暮らしたいと思う。



COVID-19 関連

心強い応援に感謝 —コロナ感染を経験して

NPO 法人 出発の仲間の会 石井 香里

クラスター対応のために準備された感染対策用品

「もうすぐワクチン接種が始まるからそこまでなんとか乗り切れれば」と願っていた3月末、グループホーム（以下GHと略す）で暮らすメンバー2人が同じ日に発熱し、新型コロナウィルスに感染しました。GHや日中活動先でも集団で過ごしていることも多く、メンバーによつてはマスクをつけることができない人もおり、感染者がひとり出れば瞬く間に拡がってしまうのではと心配していましたが、ウィルスは思っていた以上のスピードで拡がり、1週間でメンバーと介護者合わせて12名が感染しました。初めてひとりで入院することになったメンバーも多く、本人も家族も介護者も不安でした。介護は長時間シフトになり、不慣れな緊張の高い介護で疲労も蓄積していきました。

事態が1週間を超えたとき、このままでは支援体制の維持が困難だと判断し、障害者団体と自治体を通じて応援の要請をしたところ、すぐに各所から連絡をいただき、陽性者の出でていないGHの応援と物品調達などの後方支援に入ってもらうことができました。最終的に24名までひろがったクラスターは収束までに3週間を要しました。

クラスターの対応期間中、想定しきれていた細かな感染対策の不備など次々と課題があがりました。なかでも、「受援」についてはほぼ想定がなかったため応援に来てくださった方々に助言していただきながら、支援を継続しました。応援要請については、障害者の生活支援をしている団体同士で普段から一緒に活動したり、職員同士が顔見知りになっていることで、自分たちで対処しきれない困難に直面したときに躊躇せずSOSを出すことができたと思いましたし、助けてくれる人がいると思えることが何より心強かったです。ありがとうございました。
この度の経験を糧に、これからもいざというときにさっと助け合える土壤を地域でつくっていきたいと思います。

豪雨被害にあつて

宮城県 大郷町

放課後等デイサービス
めるくまーる柏川みらい 児玉幸司

今年7月1日からの大雨により被雪に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

私達が被雪にあつた当時、気象庁の記者会見のニュースを参考に、「翌日土曜日の開所時間を短縮します。」と事前に家族に話し、通常の開所時間の2時間前に利用者を自宅に送りました。車7台を町の文化施設の駐車場に避難させ、職員は自宅待機にて過ごすように指示をしました。

夕方より雨が強くなり、22時に町の土木関係業者から連絡が入り、「車が浸水している。移動して下さい。」しかし、鍵は施設で、施設付近の道路は冠水している為、だれも近寄る事はしないように職員に指示をして車は諦める事にしました。

翌朝、車を確認に行くと、町の職員から「施設付近の川が氾濫している」と連絡を受け、テレビニュースで確認したら、堤

防は決壊、体育館の壁を破壊、施設のガラス戸が割れ濁流が室内に流れこんでいるのが見えました。3日後に被害の確認をした所、床上1・7以下の浸水状態で、軽いものは全て流失。パソコン、冷蔵庫等々全てが泥の中に埋まっている状態で見つかりました。

同日に町の施設で職員と今後どのようにして行くかを話し合い、当面閉所する事に。利用者家族に職員が直接当面の間閉所する事を伝えました。町に仮設の施設を要望した所、文化施設を借りられる事になり、再開に向けて準備を進め11月7日無事に再開でき70名の利用者が欠ける事無く通所してくれました。利用している子どもには、雑巾、バケツを持って掃除に行くと言つてくれた子、再開をずっと待つてくれていた子、通所してきた子どもたちの笑顔に職員が凄く救われたことを思い出します。その

後、宮城県に創設の補助金を申請し、町有地を無償で借り、今年度4月からは新規17名の利用者を受け入れ皆楽しく過ごしております。被害にあって、心は折れそうになつたが、子ども達、保護者、職員の絆が一層強い関係になったと思います。

水害復興への道のり ー被災地の苦悩

佐賀県 武雄市

児童支援事業所 ガラパゴス 木須亮太

今年もいつもと変わらない夏がやつてきました。蝉の声と入道雲、照りつける日差しに夏の到来を感じています。

ガラパゴスでは今年、プールを設置しました。発達障害の利用者にとって水の中のあの体を包む感覚は大変気持ちが良いものなのです。利用者にとって水はイライラするものを流すもの。水って本当に大切な心の安定です。子ども達の笑顔を思い浮かべながら、設営していた時、「今年はこのプールの片付けまでしたい」と頭をよぎりました。

2019年8月28日、ガラパゴスは変わりました。スタッフも一瞬で全てが消え去り、ショックだったのか何人か辞めました。経営している私の気持ちも本当に変わっていました。この年もプールを設置していました。でもあの豪雨と水害で、プールは



浸水したガラパゴス周辺

一瞬で汚れ痛々しい姿でした。それをトラックの荷台に載せて廃棄したこと覚えていきます。あんなに笑顔があふれる、「学校のプールは怖い」という利用者でも楽しく入れたガラパゴスのプール。プールを見るだけで子ども達の笑顔と夏の香りを思い出せたのに、あの日ガラパゴスのプールは子ども達の想い出と共に壊れてしまいました。

もちろんプールだけではありません。ガラパゴスが利用できなくなり、学校へ足が遠のいた子、雨の音にパニックが出てしまった子など、心の傷は想像をはるかに超えていました。利用者を訪問して様子を聞いて回り、食材を届けたり、物資の支援もおこないました。その傍らで、事務所の片付けは毎日1か月間休みなく行いました。いろいろな教材やタブレット、涙を流しながら、廃棄しました。何一つ残せませんでした。

復旧に要した費用、時間は多大なものでした。それでも運営を諦めたくなく、クラウド

クの荷台に載せて廃棄したこと覚えていきます。あんなに笑顔があふれる、「学校のプールは怖い」という利用者でも楽しく入れたガラパゴスのプール。プールを見るだけで子ども達の笑顔と夏の香りを思い出せたのに、あの日ガラパゴスのプールは子ども達の想い出と共に壊れてしまいました。

もちろんプールだけではありません。ガラパゴスが利用できなくなり、学校へ足が遠のいた子、雨の音にパニックが出てしまった子など、心の傷は想像をはるかに超えていました。利用者を訪問して様子を聞いて回り、食材を届けたり、物資の支援もおこないました。その傍らで、事務所の片付

けは毎日1か月間休みなく行いました。いろいろな教材やタブレット、涙を流しながら、廃棄しました。何一つ残せませんでした。

ガラパゴスは、水害後、ゆめ風基金をはじめ沢山の方々に支援を頂き、今があります。あの時の支援がなかつたら、子ども達の居場所を取り戻せなかつたかもしぬません。

夏は子ども達にとって水の事故が多いです。だからこそ、障害の特性に合わせて、水の事故にならないような興味・関心の整え方をトレーニングするため、ガラ

パゴスのプールや、課外活動に川遊びをた

で上手にできずに目標実現まで至らなかつたのですが、利用者の絵を受け取つてくださつた何名かの方には直筆のお手紙をいたしました。元気をもらいました。NHK佐賀局の取材を受け、全国で密着ドキュメンタリーの放送もありました。NHKの「スブック動画」は百万再生され、YouTubeにもアップされました! (検索キーワード「愛よりも理解を」) 海外からも応援のコメントをいただき、自分たちの歩むべき道は「今のところ大丈夫。ずれていない」と確信をもつています。

ガラパゴスは、水害後、ゆめ風基金をはじめ沢山の方々に支援を頂き、今あります。あの時の支援がなかつたら、子ども達の居場所を取り戻せなかつたかもしぬません。

今年こそは、今回設置したプールを片付けることまるで。私はどうしても片づけたいのです。そうやって無事に日常を過ごしたい。ただそれだけを祈つています。

是非、今後ともご支援いただきます様、お願い申し上げます。

ファンディングに挑戦をしました。初めて利用している子ども達が安全に幸せに生き続けることができるようという考え方です。

利用者が増えしていく一方で、金銭的な事情でまだまだ送迎車の準備が出来ず頭を抱えているのも現実です。できる限りのことをやって、後悔のないような日々を過ごしていくために、もっともっと努力が必要なのだろうと水害後、運動をしながら無力さを感じています。

今年も雨が降り続ります。去年は「同じこと(水害)が起きたら…」と設想しなかつたプール。私の心にも水害の爪痕はしっかりと刻まれており不安で怖かったです。去年は雨の日の警戒アラートで毎回車を高台に運びました。自分の心の弱さを実感していますし、今もある日の事を思い出すことが嫌で苦しいです。

今年こそは、今回設置したプールを片付けることまるで。私はどうしても片づけたいのです。そうやって無事に日常を過ごしたい。ただそれだけを祈つています。

是非、今後ともご支援いただきます様、お願い申し上げます。

災害対策基本法が改正されました

事務局長 八幡 隆司

災害対策基本法が改正されました。
今年5月20日付で、災害対策基本法の一部を改正する法律が施行されました。

最近の豪雨のニュースではよく左図のようなものが出ています。

これは豪雨時の情報が変わり、今



出典：内閣府防災担当「新たな避難情報等について」

難指示」として警戒レベル4ではみんなが避難することとなりました。「避難準備・高齢者等避難開始」という長い言葉も「高齢者等避難」というすっきりとした名称になりました。

災害対策基本法改正に伴って障害者にとって重要な改正が2点行われました。

一つ目は災害時における要援護者等の個人支援プランが市町村の努力義務となつたことです。これは災害時における個人支援プランを市町村が積極的に作るよう促す動きです。

もう一つは福祉避難所への直接避難を国が促していることです。内閣府の「福祉避難所運営ガイドライン」がすでに改正されており、協定を結んだ福祉避難所が、あらかじめ要援護者と契約することで、福祉避難所へ直接行ける仕組みが明確になっています。

これら二つの改正が今後どこまで進むのかはわかりませんが、ゆめ風基金としても注目していきたいと思います。

東日本大震災復興支援定期「サポートV」活動報告会のお知らせ

ゆめ風基金に多大な協力をいただいている近畿労働金庫。その近畿ろうきんで「サポートV」という東日本大震災復興支援定期預金が2011年に作られ、その定期預金の利息を上乗せして10年間にわたり寄付してくださるプログラムが今年で完了します。その報告会が次のように行われますので、みなさんのご参加をお願いします。

日時
2021年10月23日（土）13時30分～15時40分
場所
オンライン開催（Zoomによる限定配信）

内容

▽「サポートV」の10年間の寄付金と活動報告
▽「サポートV」による支援先からの活動報告
（あしなが育英会）

西田 正弘さん 東北レインボーハウス所長
山下 高文さん 東北レインボーハウス
（ゆめ風基金）
太齋 京子さん NPO法人奏海の杜（宮城）
橋本 由利子さん NPO法人コーヒータイム（福島）
▽クロストーク 「10年間の支援を振り返り、これから東北・災害支援を考える」

申込・問合せはゆめ風基金まで。申し込みをいたいた方に配信アドレスをご連絡します。

までわかりにくかつた「避難指示」、「避難勧告」といった情報を一本化し、「避

広島

西日本豪雨から3年が経ち、何か広島でもイベントをと思つていた時に、「ゆめ風事務局」からこの原稿依頼の電話があった。私はその日の深夜、伊予灘を震源とする震度2／M4・3の地震と、安芸灘を震源とする震度1／M4・0の地震を経験した。そして、追い討ちをかけるかのようにして豪雨災害にも見舞われた。その結果、避難情報等で携帯が鳴り止まず、寝不足のまま一日が始まった。

梅雨末期の豪雨災害は約2年前から続いている。積乱雲が同じ場所に連なつて大雨をもたらす現象は知られていたが、線状降水帯の言葉が定着したのは7年前の広島土砂災害から。その発生を察知しようと現在、大気中の水蒸気量の計測が各地で鋭意進められている。私たちはその情報を手に入れ、命を守る行動へとうなげていかなければならぬ。その情報を手に入れるためにも、情報を配信できるマスク等には、誰一人として取り残させないように、わかりやすい言葉で発信して欲しい。

また、自然災害は大きく分けて2つある。豪雨災害などのように予め情報収集することができるものと、地震災害などのようにつづどのように起らせるのかわからなく情報をえることができないものだ。私たちがやるべきことは、日常から災害に備えて介助者や支援者と連携をとつておくことである。私自身、冒頭述べた災害を経験した時全国各地から「大丈夫か?」と連絡を受けて本当に安心した。地方にいる者として全国の友人たちと繋がつていふことは大切であると考える。

はた 俊彦



NPO法人 障害者生活支援センター・てごーす



はやさか よしゆき
早坂 佳之

NPO法人 自立生活センター・イルカ

はいさい、ぐす——よー、ちゅーつがなびら(皆さん)こんじうは、ご機嫌いかがですか? 沖縄でゆめ風ネットの窓口をしてる、自立生活センター・イルカがある沖縄県中部の宜野湾市は中央部を墓地にくりぬかれたドーナツみたいな市です。事務所は一階から東シナ海が見えるゼロメートル地帯にあります。
毎日障害者、健常者、スタッフ、利用者、お客様がまぜこぜに事務所に来ます。
十年前の東日本大震災が起きた日、震源地は遠くても、警報が出ていたので、みんなで避難しました。内陸部の老人センターに車で避難したのですが、他に避難する人もなく、道も通常と変わりませんでした。避難所の畠で過ごした肌寒い夜を今でも思い出します。(被災地ではその比ではない事ですが)
実際に地震や津波に襲われた時に、私たちはどうしたら生き残ることができるか、その後の避難生活を過ごせるか、真剣に考え、行動しなければいけません。しかし、あれから十年たつた今、そのことを真剣に考える人はどれほどいるでしょう。
県内には離島も含めて5か所の自立生活センターがあります。毎年発生する台風は県民、特に障害者の生活に大なり小なり影響を及ぼします。災害対応は日常と地続きであることを念頭に、日々の活動から連携と情報共有をしながら、このコロナ禍においてもできるだけやるべきことを考え、行動していきたいと思います。この文章を書いてるのは奇しくも相模原事件が起きた7月26日。命の平等を実現するために今、私たちに何ができるかを改めて問つてしまましょ。黙ど。

沖縄

リレー・エッセイ 災害と障害者 第六十九回

災害をどのように捉えるか



平井 誠一
ひらい せいいち

NPO法人自立生活支援センター富山所属。1953年富山県生まれ。病院と学校併設の障害者施設に3才から入所。その後、中高は養護学校へ。住み込みで般就労していたが、青い芝運動や全障連解放運動・DPI日本会議反差別国際運動などに関わってきました。現在は、脳性麻痺の二次障害で頸椎の手術を受けてから地元富山で若手育成と「地域とともに生きる」ことを追及中。

銃を向けられて

私が初めてアメリカに行つた時に、ワシントンのケネディ空港内で電子手帳を開いたときに銃を持った軍隊の5～6人に銃を向けられて両手を上げていた。1991年湾岸戦争でアメリカはテロを恐れて厳戒態勢だった。電子手帳が爆発物の起爆装置だと思われたとのこと。

タクシーに乗つていて助かった

1995年、私は文部省交渉のために新宿から国会議事堂のある霞ヶ関をタクシーで通つていたときに運転手が「地下鉄で何かあつたようですよ」とラジオを聞きながら言われた。「お客様、タクシーに乗つておられた良かつたですね」といわれました。この日は、介護者がいなくて一人で移動することになりました。後でわかつたことは、これがあのオウム真理教のサリン事件でした。集まってこられた方は誰も巻きこまれなかつたことを覚えてています。

が1週間止まつてしまつた。ヘルパーさんは厳選して歩いて行けるところしか行けなかつたと聞いています。私は団地に住んでいて団地の周りの道は除雪されましたが、団地の中は雪をよけるところがなく、ヘルパーさんたちが車を停めるところがなかつたり、団地に住む方たちが高齢化していく除雪を行う方が少ないので現状です。

この事態を障害者当事者が「いつものことだから」と思つている方たちが多く、行政やヘルパー事業所に言えば何かしてくれることどうという意識の方が多くそんなに問題にならなかつたのです。

しかし、現状は降り積もる雪に対しても除雪が間に合わず、仕事で帰宅の方が車の中で晚泊まつたり、職場に歩いて行かれた方や休まれた方も多くいました。また、家に帰るのを諦めてホテルに泊まられた方で宿泊者がいっぱいだつたと言われます。

このいつもと違う事態を乗り切つた方たちは、近所の人たちと関係を持ってきた障害者の方たちでした。除雪を手伝つて頂いた

「富山は、立山に守られている」と言われてきました

よく富山の人たちは、「富山は、立山に守られている」と言つて立山神話を感じているようだ。私が子どもの頃は新潟地震で施設にいたらベッドが一ヶ月動いたことや能登地震で揺れたりしました。今まだ覚えている限り、富山でそんなに大きな災害に遭つた覚えがありません。

近年、地震や地球温暖化により各地で水害が毎年のように起つていたり、熱中症などが頻繁に起つるようになり、障害者の災害と防災の取り組みが行われるようになった。富山でも3年前から民生委員・児童委員の方たちと講演会や避難訓練などを一緒に取り組んできました。最初のころは、障害者は防災訓練に参加したがらない人が多いとか、障害者の方の地域情報が少ないとか、どのように対応して良いかわからないという意見が出されてきました。

今年の春から民生委員・児童委員の方たちとネットワーク事業ということで富山市社協の担当者がコーディネートして頂いて、毎月5回に分けて1970年代から今日までの障害者の現状と障害者運動の取り組みを話し、現在障害者福祉サービスが進んできた中で、障害者の地域生活が福祉サービスオンリーになり関わる人たちが福祉関係者のみになつている方が多いこと。また、家からデイサービスなどの往復や福祉タクシーでのお出かけしかない方も多くなつていて現状が見られます。

「大雪でヘルパーさんが来られない」ことは、災害ではないか

今年の1月に富山は大雪に見舞われて、富山県内の交通機関

外国人の方で、普段は隣に車を停めておられます。民生委員の方もアパートの前の雪かきをしてくださつたり。

災害の起つりかけは、行政やヘルパー事業所が動けない事態が起つてゐるのだという障害者側の認識も変えていく必要があると思います。私たちが関わっている方で冬に多いのは低体温症により救急車で親子が運ばれる方もおられます。

福祉サービスは、オールマイティではない

多くの場合は、災害が終わつてから災害指定されて、〇〇から〇〇は災害指定されましたから避難しているところで介護等の福祉サービスとして請求されますと通達が来ます。これでは対応が遅くなります。事前に予測される災害に対して、災害指定して事前の避難を促して、避難場所にヘルパー派遣も含めた対応が求めて行かなければならぬと考えます。

それと同時に、福祉関係者以外の方たちと日常的にどういうふうに付き合つていくのか、どういう関係を作つていくのかを考えて行くことが大切だと思います。

これまで述べたように、一つ一つの体験は、「過ぎ去つたこと」ではなく、その時に自分に何が起つていていたのかを捉え返して、何をすればよかつたのかを考えて行くことが必要だと考えます。

今年の夏は「ゆめ風版 避難所運営シミュレーション」ゲームを民生委員・児童委員の方たちと行います。

カンパをいただいた団体

お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザーやイベントで集めてくださったりしています。

本当にありがとうございます。(もし掲載漏れがありましたらどうかお許しください)

2021/3-2021/05

- 3/9 大刀洗町障がい児者親の会ぽけっと
(福岡県三井郡)
- 3/15 阿波グローカルネット（徳島）
- 4/19, 5/17 健康アメニティたのし（新宿区）
- 3/16 ワークセンターわっそ（伊丹市）、
おとぎ保育園（綾瀬市）
- 3/17, 4/16 ホームベース（枚方市）、
柴山治療院（福井県坂井市）
- 3/19 プチマルシェ（中野区）、いーはとーぶ
(さいたま市)、北巣本保育園（門真市）、
TOLI協会（世田谷区）
- 3/22 妙元寺（名古屋市）、
- 3/23 豊中市立障害福祉センターひまわり、
コーヒータイム（二本松市）、
- 3/24 鵜飼コミュニティセンター（出雲市）、
阿星山診療所（湖南市）

- 3/27 国際協力・障がい者支援センター愛のかけはし
(多久市)
- 3/29, 4/12 自立生活センター松山（松山市）
- 3/30 聖ベネディクト女子修道院（室蘭市）
- 3/31 沖島電機（沖縄県島尻郡）
- 4/13 錦保育園（登米市）
- 4/20 箕面市人権啓発推進協議会（箕面市）
- 4/21 喫茶ぶーけ（札幌市）
- 4/22 得雄寺（長崎県南松浦郡）
- 4/26 常在寺（長崎県）
- 5/7 夢工房こばちゃん（鳥取県八頭郡）
- 5/17 アド・スペース（越谷市）
- 5/26 浜松協働学舎を支える会（浜松市）
- 5/28 田辺三菱製薬労働組合（大阪市中央区）
- 5/31 玄家（埼玉県入間郡）

事務局の動き

2021年4月から6月の動きを一部ご紹介します。

毎週月曜日 事務局会議

- 4/9 ホームページについての話し合い
- 4/21 大阪府人権教育研究会講演（長崎）
- 4/22 OSN（おおさか災害ネットワーク）会議
- 4/30 ゆめごよみ 95号編集会議
- 5/18 ハラスマメント研修会、理事会
- 5/26 就業規則検討委員会、
ゆめごよみ 95号編集会議
- 5/28, 6/17 OSN会議
- 6/22, 23 ゆめごよみ 95号発送作業
- 6/23 BCP（事業継続計画）会議
- 6/29 就業規則検討委員会
- 6/30 関西障害者定期刊行物協会総会（ZOOM）、
近畿ろうきんイベント打ち合わせ

Webサイトで クレジットカードによる 寄付ができるようになりました！

ゆめ風基金ではみなさまからの要望が多かった「クレジットカードによる寄付」ができるようになりました。

Webサイトでトップの写真左側にある「障害者救援金送り先」の下「その他の振込み方法」をクリックいただくか、画面左側の「ゆめ風基金とは」の下の「参加方法」をクリックいただくと、「クレジットカードによる寄付」が出てきますので、あとは案内に従って、必要事項を入力してください。なお個人情報はプライバシー Policy に基づき、慎重に扱わせていただきます。ご不明な点などがありましたら、お問い合わせください。

NPO 法人 ゆめ風基金		ただいまの基金額 304,726,817 円	貸付金の残高 これまでの救援金・救援活動費総額 総会員数 566,758,725 円 14,740 人	
		前回報告残高	この 3ヶ月の動き 4月から 6月まで	今回報告残高 2021 年 6月現在
収支計算書	収入の部	会費収入	24,088,217	4,605,853
		寄付金収入	3,281,014	2,926,608
		臨時寄付金収入	348,000	4,045,000
		助成金収入	147,420	120,000
		事業収入	75,354	56,202
		雑収入	73,909	60,000
		貸付金返済収入	0	16,808,000
		保証金返済収入	0	0
		預り金収入	360,763	446,105
		未収入金収入	0	0
	支出の部	未払金収入	0	0
		合計	28,374,677	29,067,768
		救援金支出	730,800	2,972,000
		救援活動支出	0	0
貸借対照表	資産の部	貸付金支出	0	0
		基金拡大活動支出	3,300	9,510
		防災活動事業支出	157,395	140,000
		広報活動事業支出	250,585	375,151
		その他事業支出	264,960	306,810
		人件費支出	2,434,032	3,220,338
		その他事務費支出	1,389,208	1,281,757
		預り金支出	651,128	402,656
		未払金支出	283,103	0
		固定資産購入支出	0	0
	負債の部	保証金支出	0	0
		合計	6,164,511	8,708,222
		差引：収支差額	22,210,166	20,359,546
				42,569,712
	負債の部	基金特別会計預金	283,256,846	21,469,971
		一般会計現金預金	1,538,966	△ 1,110,425
		[現金預金合計]	284,795,812	20,359,546
		障害者貸付金	16,808,000	△ 16,808,000
		有形固定資産	1,226,013	0
		その他の資産	1,245,826	0
		合計	304,075,651	3,551,546
		未払金	0	0
		預り金	△ 12,029	43,449
		その他の負債	400	0
		合計	△ 11,629	43,449
		差引：正味財産	304,087,280	3,508,097
				307,595,377

脚注 1. 今回は 4月から 6月までの 3ヶ月間の報告です。

2. 救援金は 2 件の支払いがありました。

3. その他は特に大きい変動はありません。

災害別の救援金総額 以前に他の災害でお届けした救援金はゆめ風 WEB サイトとブログに掲載しています

東日本大震災

2016 年熊本地震

2018 年西日本豪雨

令和 2 年 7 月豪雨

340,804,224 円

55,598,387 円

45,164,095 円

8,490,187 円

◆ 大変な状況で希望を失わず活動されている皆様の姿に私の方が励まされています（横浜市）◆ たんたんと伴走者であります（日野市）◆ 国は全くアーテになりません（武藏野市）◆ 切手代です（北海道斜里町）◆ がんばってトトかでほんとにありがとうございます（四万十市）◆ 1年でも長く応援できるように私もガンバります（大阪平野区）◆ ツクシマはまだ10年（大阪東住吉区）◆ 一緒に共にがんばって支えあって寄り添いあって生きて行きましょう（滋賀・野洲市）◆ コロナ禍は人間の生活を見直し、反省する機会でもあるのです（練馬区）◆ 風の時代到来。ゆめ風精神の時代。笑顔のお手伝い、お互いままで（大阪市）◆ 少しでも前に進んでいきまおすようにー。お身体大切にして下さい（八王子市）◆ 先の見えない新コロナ。皆さまの活躍を心強く思っています（横浜市）◆ 永六輔さんとずっとつながっていたいの身心ばかりです（山形・南陽市）◆ 牧口さん、お元気ですか？（吹田市）◆ 高齢になりました。今回で終わりにします（池田市）◆ 少しですが応援の気持ちを！（豊中市）◆ ゆめ風との繋がりは私にとって心の力になつてます（島根県）◆ 長いトンネル、いつ光が見えてるやない。不安のスキをつかれぬようにしないと（甲賀市）◆ 寄付します。困っている人に役立ててください（堺市）◆ A君の主人を、見送り

ました。手助けのほしい人に、少しでも届く嬉しさです。宜しくお願い致します（大阪・三島郡）◆ 仲間の皆さん、ご苦労さまです。クラウドファンディングを活用してはいかがでしょうか。ではまた（滋賀・野洲市）◆ 長い間、お送りいただきありがとうございました。みなさんで、頑張っていらっしゃいますね。夫が亡くなつたので、これですみませんが終わりにさせて下さい。ご縁を続けられなくて、ごめんなさい。当方一人暮らし、83歳年金で生活しているため。皆様の頑張りに、敬意を表しています!!（横浜市）◆ 「がまん」の期間、長くなつてしますね。風によりはねるく長く続きますように。ありがとうございます（清瀬市）◆ いつも少額でスマスマゼン。今年は回数で、もう余命も少ないのですが（新潟県）◆ 賛助会費です。滞つていたと思います、すみません。おびしい状況は続きますが、いたわりながらと共に（兵庫県）◆ 早く安心してバザーが出来る事を祈つてます（東広島市）◆ 東北震災の10年の節目、メモリアルから当時の様子が流れます。いろいろ想い出しますね、阪神淡路、東北の津波原発爆発、更に台風大雨そしてコロナ…みんなが平穡に暮らせる日を祈るのみです（寝屋川市）◆ 少ししかできませんが、他のお手伝いの気持ちもあります。人の心は通じ合えて嬉しいと思ひます（箕面市）

ゆめ風ブログ (<https://yumekazek.com/blog/>) にも掲載しています

編集後記 ここ数年、仲間の障害者の訃報を突然聞くことが多くなりました。会員さんの中にも、ご遺族から連絡がくることがあります。とても胸が痛みます。また振込用紙のコメントにも「高齢のためやめます」などのお声も見られます。今まで一緒に歩んでくださって、本当にありがとうございました。今号に寄稿してくれたガラパゴスさんが8月豪雨で再び被災されたそうです。今後の様子を見て何かできることがあればしたいと考えています。（な）

さっぽろ 011-817-9080 秋田 018-846-3916 みやぎ 0220-44-4171 いわき 0246-68-8925 新潟 024-232-7522 三條 0256-34-2448
 JDS(東京) 03-6907-1824 東大和 042-567-2622 立川 042-525-0879 横浜港北 045-431-4070 千葉 047-485-1245
 埼玉 048-738-4593 上田 0268-39-4568 静岡 054-288-6068 きくがわ 0537-35-8303 本庄 0495-24-8902 愛知 052-841-9888
 名古屋 052-745-1001 岐阜 058-388-1864 加賀 076-243-6786 富山 076-444-3753 福井 0776-27-2621 三重 059-202-5782
 滋賀 077-543-2844 京都 0774-93-3277 JCIL(京都) 075-671-8484 奈良 0745-42-2919 和歌山 0737-82-4060 伊丹 072-783-4991
 ひょうご 078-642-0142 はりま 0792-84-4668 淡路島 0799-70-6145 明石 078-913-5315 しまね 0854-83-2183 かがわ 0877-73-4177
 愛媛 089-924-8533 まつやま 089-986-3245 今治 0898-54-4365 徳島 088-602-1003 岡山 0866-97-0206 ひろしま 082-294-4185
 尾道 0848-38-9551 やまぐち 0833-76-0550 福岡 094-962-6003 大分 097-597-5315 宇佐 0978-32-3365 ながさき 0957-46-3858
 諫早 0957-28-3800 さが 0952-74-4568 熊本 096-366-3329 みやざき 0985-31-4800 かごしま 0994-63-8855 沖縄 098-958-2912